

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
教育実習(小)	実習	4	齋藤 尚志
<p>【授業のテーマ及び到達目標】 教育実習は、教職課程で学んだことの総仕上げをする体験学習の場です。ただし、体験学習の場といえども、現場の教員と同様、子どもたちに多くの影響を及ぼす「先生」でもあります。実習生として指導担当の先生に報告・連絡・相談しながら指導を受け、先生として子どもたちと大いに遊び、大いに学んでください。また、指導担当の先生をはじめ、現場の先生たちと子どもたちとの関わり、先生同士・大人同士の協力・協働関係、など学校を支える基盤(環境)についても十分観察してきてください。</p>			
<p>【到達目標】</p>			
<p>【授業の概要】 学外実習 1週目：観察・参加実習 2週目：観察・参加実習 3週目：観察・参加・授業実習 4週目：観察・参加・授業実習および研究授業</p>			
<p>【全体の授業計画・内容】</p>			
<p>〈観察参加実習〉 配属学級での教育活動に参加し、教科活動及び教科外活動における児童の様子、日常的な児童の生活状況を観察し、その学級の児童一人ひとりを理解する。指導教諭の指導の下に、配属学級の学級経営のあり方を学ぶ。</p> <p>〈授業実習〉 教育課程と学級の児童の実態に即した授業の指導計画を立て、教材を研究し、教壇に立ち授業を行う。また、授業評価についても実習を行う。</p> <p>〈研究授業〉 実習生自らが、指導教諭の指導の下に研究授業(教材研究・指導案作成等)を行う。 ○巡回指導－近府県市実習校へのお礼の挨拶、学生の実習状況の把握、指導と激励。 ○随時指導－学生の実習中に抱える諸問題、悩み、質問等に対する対応・助言・指導</p>			
<p>【準備学習の内容】</p>			
<p>予習のあり方：大学の授業等で学んだことを振り返り、実習校の子どもの生活や指導教員の指導のあり方をよく観察すること。</p>			
<p>学習のあり方：実習校の指導教員への報告・連絡・相談を基本とした学習を行うこと。</p>			
<p>復習のあり方：実習校の指導教員等からの指導内容を振り返り、実習ノートの作成を行うこと。</p>			
<p>【成績評価】 実習校の「教育実習評価」(50%)、「教育実習記録」(20%)、教育実習事前・事後指導の授業態度や取り組み(30%)</p>			